

# 神戸だより

台湾交流支援の会 2018.04発行 Vol. 6

## <神戸の今 : 新しいスタートです>

4月、日本では寒い冬が終わって暖かくなり、明るく柔らかな日差しが降り注ぎます。色とりどりの花が咲きはじめ桜の花も一斉に咲いて世の中全体が明るくなったように感じます。

こんな4月に日本では色々な事が始まります。

国の新会計年度が始まるとそれに合わせた民間の会社も新しい一年が始まります。4月の上旬にはあちらこちらで入社式が行われ、街では真新しい背広を着た若者が沢山見受けられます。

また学校でもこの時期に一斉に入学式が行われ、小学校ではきれいな服を着た子供たちが両親に連れられて少し緊張した様子で初めての学校にやってきました。

しかし日本では少子化が進み年々新一年生の数が少なくなってきています。私達の年代では1学年は約120人ぐらいでしたが、写真の小学校の今年の新入生はわずか2クラス46人でした。国も色々な対策を取っていますが中々うまくいきません。増える老人と減る若者、これが日本の1つの問題となっています。



## < 私達の活動 : 台湾交流 >

昨年からの念願がかない台湾交流が実現しました。(3/13~16)

3/14には新竹市東区学齡学習中心、3/15には台中・曉明長青大学を訪問し、交流を深めました。

新竹では豪華な広東料理を囲み約2時間の食事会で、台中では二胡の演奏で歓迎を受けたあとの昼食会で、それぞれ思い出のある方との再会を果たし、楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。

両校とも過去に一度お会いしただけでしたが十数年来の友達のように歓迎して頂き、台湾の方々の暖かいもてなしを受け、大変思い出深い訪問となりました。

次回は是非日本で交流をしたく皆さんのお越しを待っています。

### 台湾交流 感想 <藤田 慶子>

3月14日の夕方 18時頃から、敷地全体が広くて夢のようでした。煙波大飯店(湖濱館)の中華レストランで円卓2個使った豪華な食事でした。私と同じ位の年の方と、身振り手振り私の好きな『福』という漢字を手帳に書いて会話しました。相手の女性は、好きな建築家安藤忠雄の話をしてくださいました。

